
赤 潮 情 報 (定期赤潮調査結果)

鹿児島県水産技術開発センター
 平成 21 年 9 月 2 日

八代海赤潮情報No.6

[1] 9月1日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

全調査海域において、着色域は確認されませんでした。

有害種は、シャトネラ アンティーカーを2定点で1~2 cells/ml確認しました。

全体的に珪藻がやや多い状況でした。

※各調査点の細胞数は下図を参照

(2) 海 況

表層水温は八代海全域で27.2~29.6℃で同年同時期並、塩分は32.3~32.8で透明度とともに同年同時期よりやや高めとなっています。

水 温 (表層): 平均 28.1℃ (27.6℃)

塩 分 (表層): 平均 32.6 (31.4)

透明度 : 平均 10.3m (7.8m)

()はH元~H20年までの9月の平均値 (同平年値)

[2] 今後の赤潮発生の予想

今回、シャトネラ アンティーカーが2定点で確認されましたが、同日の熊本県調査でも、楠浦湾でシャトネラ属が2 cells/ml確認され、また有明海では、荒尾市沖で最大15 cells/ml確認され、赤潮警報が発令されています。また競合する珪藻類については、前回調査時(8/18)より全体的にやや多い状況で、増殖傾向にあるのではないかと推察されます。

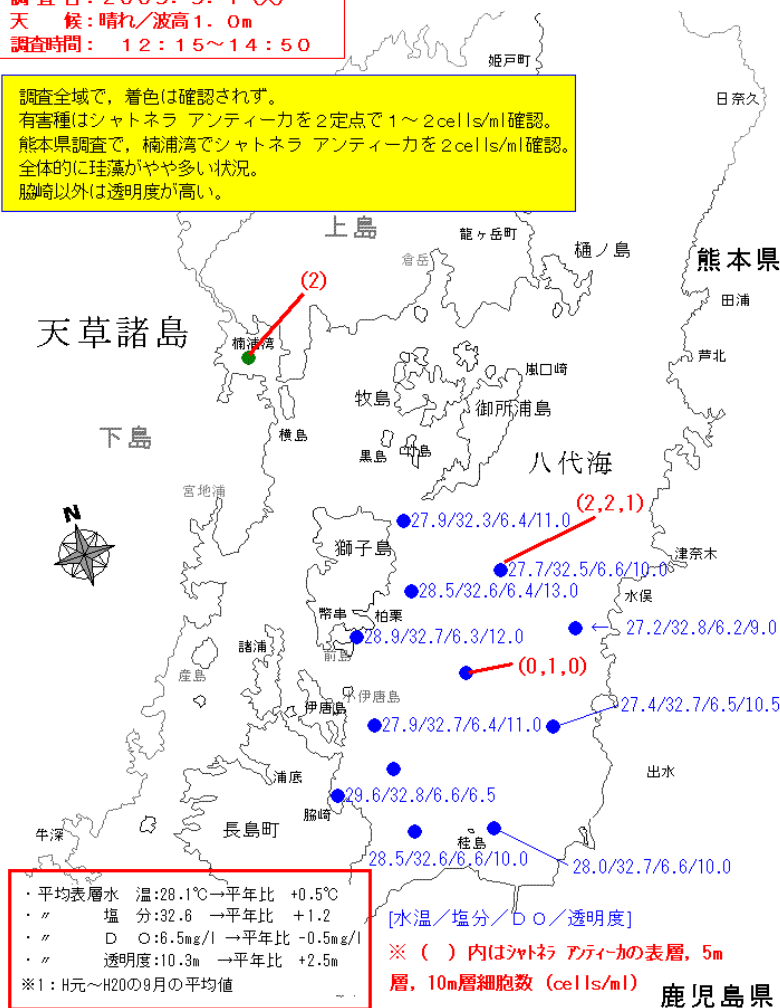
しかし今後の海況、天候次第では、シャトネラ アンティーカーが再度増殖する可能性もありますので注意が必要です。

今後とも、定期的な検鏡等により十分な監視を行って下さい。(次回調査は10月13日の予定)

【鹿児島県水産技術センター、東町漁協、熊本県調査】

調査日: 2009. 9. 1 (火)
 天 候: 晴れ/波高 1.0m
 調査時間: 12:15~14:50

調査全域で、着色は確認されず。
 有害種はシャトネラ アンティーカーを2定点で1~2 cells/ml確認。
 熊本県調査で、楠浦湾でシャトネラ アンティーカーを2 cells/ml確認。
 全体的に珪藻がやや多い状況。
 脇崎以外は透明度が高い。



赤潮情報(携帯用): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/HTML/index.shtml>